

第二十八回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十四號

明治四十五年三月二十三日(土曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第十四號 明治四十五年三月二十三日

- |  |             |
|--|-------------|
| 午前十時開議   |             |
| 第一 擔保附社債信託法中改正法律案(政府提出衆)                                       | 第一讀會        |
| 第二 保險業法中改正法律案(政府提出衆)   | 第一讀會ノ續(委員長) |
| 第三 樺太酒類出港稅法案(政府提出衆)  | 第一讀會ノ續(委員長) |
| 第四 工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法中改正法律案(政府提出衆)                            | 第一讀會ノ續(委員長) |
| 第五 明治三十四年法律第十號中改正法律案(政府提出衆)                                    | 第一讀會ノ續(委員長) |
| 第六 腫虎脰肭獸獵獲禁止ニ關スル法律案(政府提出衆)                                     | 第一讀會ノ續(委員長) |
| 第七 腫虎脰肭獸獵業者等ニ對スル交付金下付ニ關スル法律案(政府提出衆)                            | 第一讀會ノ續(委員長) |
| 第八 朝鮮醫院及濟生院特別會計法案(政府提出衆)                                       | 第一讀會ノ續(委員長) |
| 第九 樺太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案(政府提出衆)                                   | 第一讀會ノ續(委員長) |
| 第十 朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケナル文官判任以上ノ者ノ退憲料及遺族扶助料ニ關スル法律案(政府提出衆) | 第一讀會ノ續(委員長) |
| 第十一 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出衆)                                       | 第一讀會ノ續(委員長) |

○副議長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

昨二十二日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

家畜市場法中改正法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケナル文官判任以上ノ者ノ退憲料及遺族扶助料ニ關スル法律案特別委員會

委員長 侯爵花山院 親家君 副委員長 伯爵川村 鐵太郎君

朝鮮醫院及濟生院特別會計法案特別委員會

委員長 男爵高木 兼寛君 副委員長 男爵日賀田種太郎君

樺太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵柳原 義光君 副委員長 子爵鳥居 忠文君

明治四十三年度豫備金支出ノ件外三件(承諾ヲ求ムル件)特別委員會

委員長 男爵村上 敬次郎君 副委員長 男爵外松孫太郎君

同日兩院協議委員ニ於テ議長副議長ヲ互選セリ其ノ結果左ノ如シ

議長 男爵久保田 讓君 副議長 子爵酒井 忠亮君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

明治四十五年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)、明治四十五年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)、明治四十五年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)、明治四十五年度歲入歲出豫算追加案(特第二號)、明治四十五年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)、明治四十五年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)可決報告書

第十二 農工銀行法中改正法律案(政府提出衆)

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出衆)

第一讀會ノ續(委員長)

第十三 農工銀行法中改正法律案(政府提出衆)

第十四 辭護士法改正法律案(衆議院提出)

農工銀行法中改正法律案(衆議院)

第一讀會ノ續(委員長)

第十五 辭護士法改正法律案(衆議院)

農工銀行法中改正法律案(衆議院)

第一讀會ノ續(委員長)

保険業法中改正法律案可決報告書

樺太酒類出港稅法案可決報告書

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法中改正法律案可決報告書

明治三十四年法律第十號中改正法律案可決報告書

臘虎臘肭獸獵獲禁止ニ關スル法律案可決報告書

朝鮮醫院及濟生院特別會計法案可決報告書

朝鮮醫院及濟生院特別會計法案可決報告書

樺太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案可決報告書

朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案可決報告書

日本勸業銀行法中改正法律案可決報告書

農工銀行法中改正法律案(政第二十二號)可決報告書

北海道拓殖銀行法中改正法律案可決報告書

農工銀行法中改正法律案(衆議院提出)

(衆議院提出)可決報告書

請願委員會特別報告第八號

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ議決

ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案

鐵道又ハ船舶ト露國ノ鐵道又ハ船舶トノ貨物ノ聯絡運送ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治四十五年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)

擔保附社債信託法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

辯護士法改正法律案

同日兩院協議委員議長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

衆議院議員選舉法中改正法律案兩院協議會成案成立報告書

〔東久世書記官朗讀〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、

擔保附社債信託法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

擔保附社債信託法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
明治四十五年三月二十二日

衆議院議長 大岡 育造

貴族院議長公爵德川家達殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經ナルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

擔保附社債信託法中改正法律案

擔保附社債信託法中左ノ通改正ス

第四條ニ左ノ一號ヲ加フ

九 輕便鐵道抵當

〔政府委員橋本圭三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(橋本圭三郎君) 唯今問題ニナリマシタル法案ニ付イテ簡單ニ説明ヲ申上ゲマス、擔保附社債信託法ノ第四條ニ「社債ニ附スルコトヲ得ヘキ物上擔保ハ左ニ掲タルモノニ限ル」ト云フコトガ書イテアリマシテ、一カラシテ八號マデ有ルノデアリマス、即チ御承知ノ通り其中ニハ鐵道抵當デアリマストカ或ハ軌道抵當トカ云フヤウナモノガ有ル、ソレデ此四十三年ノ法律

第五十七號ヲ以テ輕便鐵道法ガ設ケラレマシテ實施ニナツテ居リマス、ソレデ此輕便鐵道ト云フモノモ矢張此擔保附社債信託法ノ第四條ノ八マデアル其次ノ第九號ニ加ヘテ社債ニ附スルコトヲ得ベキ物上擔保ニシタイト、斯ウ云フ精神デアリマス、ドウゾ御協賛ヲ願ヒマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ著ク〕

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第一ノ議案ニ付イテ質問モ無イト認メマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔河井書記官朗讀〕

擔保附社債信託法中改正法律案特別委員

伯爵柳澤保惠君 子爵山口弘達君 子爵牧野忠篤君

子爵前田利定君 男爵高木兼寛君 男爵東郷安君

原保太郎君 石渡敏一君 木村誓太郎君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、保険業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告  
〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ナルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕



明治四十五年三月二十二日

## 右特別委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

明治三十四年法律第十號中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月二十二日

## 右特別委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

(伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル)

○伯爵寺島誠一郎君 唯今、議長ヨリ御宣言ニナリマシタ通り、此日程ノ第  
三、第四、第五ニ掲ゲテゴザイマス三案ハ委員會ニ付託審査ヲサレタノデゴ  
ザイマス、便宜上、第一ニ此日程第三ニ掲ゲテゴザイマス権太酒類出港稅法  
案ノ御報告ヲ致シマシテ、第四、第五ノ日程ニ掲ゲテゴザイマス兩案ハ第二  
ニ束ネテ御報告ヲ致スコトニ致シマス、本案提出ノ理由ヲ政府委員ヨリ承  
タノデゴザイマスガ、茲ニハホンノ大體ナコトヲ申上ゲマス、権太ニ於キマ  
シテハ昨今農民ノ移住イタシマス者ガ段々ト増加シテ參ツタノデゴザイマ  
ス、農民ノ增加ニ伴ヒマシテ農產物ノ高モ段々増シテ參ツタノデゴザイマ  
ス、農產物ノ重モナルモノハ何カト申シマスト、麥類ト馬鈴薯即チ「ジャガ  
タライモ」デゴザイマス、勿論権太ノ農民ハ麥類竝ニ馬鈴薯ヲ使用イタシマ  
スガ、ソレハ生産高ノホンノ幾分デゴザイマシテ、大部分ハ餘ルノデアリマ  
ス、即チ剩餘トナルノデゴザイマス、其剩餘高モ年々歲々増加イタシマスル  
傾キデゴザイマス、此剩餘トナリマス所ノ麥類ヤ馬鈴薯ヲ如何ニ有利ニ處分  
スルカト云フコトハ権太ノ當局者ノ辛苦イタシマス問題デゴザイマス、サテ  
之ヲ處分スルニ付キマシテハ麥類竝ニ馬鈴薯ト云フモノハ其儘ノ形デハ價ノ  
廉ナルニ致シマシテハ其容量ガ大キイ爲ニ運搬モ困難デアルト云フヤウナコ  
トカラシテ、ナカニ容易イ問題デナインデアリマス、依ツテ此麥類竝ニ馬  
鈴薯カラ造ツテ居リマスル所ノ酒ヲバ段々ト獎勵シテ行ッタナラバ、餘ホド

太ニ於テハ今日ハ殆ド酒類ヲ釀造イタシマスニハ無稅ト云 ッテ宜シイ位デア  
ルノデアリマス、内地ニ於キマシテハ御承知ノ通リニ酒造稅法ト云フノガゴ  
サイマスシ、酒精及酒精含有飲料稅法ト云フノガゴザイマシテ、少カラヌ課  
稅ヲ受ケテ居ルノデゴザイマス、ソコデ権太デ無稅ノ酒ヲ拵ヘテ内地ノ重キ  
稅ヲ擔ウテ居ル所ノ酒類ノ行ハレテ居ル所ニ移入シテ來ルト申シマスコトハ  
出來ナイコトナノデアリマス、且ツ酒造稅法竝ニ酒精及酒精含有飲料稅法ト  
云フノニ於テ絕對的ニ移入ヲ禁止シテアルノデゴザイマス、是ガ即チ城壁ト  
ナツテ権太カラ酒ガ内地ニ這入ツテ來ル道ヲ妨ゲテ居ル次第ゴザイマス、  
ソレナラバ此酒造稅法及酒精含有飲料稅法ト云フモノガ内地同様ニ権太ニ出  
來マシタナラバ、権太ニ於テ酒ヲ釀造イタシマスル場合ニ同一ノ稅率ヲ課セ  
ラレルコトニナリマスルカラ、差支ハ一見ナイヤウニアルノデゴザイマス、  
然ルニ権太ノ現在ノ狀態ハ未ダ此兩稅法ヲ實行スルノ時機ニ達シテ居ラヌノ  
デゴザイマス、即チ権太ノ發達進歩等ハマダ此稅法ヲ施クダケノ程度ニ進  
ンデ居ラナイノデゴザイマス

## 〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

斯ノ如キ次第デアリマスルガ故ニ、今般政府ハ此権太酒類出港稅法ト云フモ  
ノヲ制定イタシマシテ、其道ニ横ハル所ノ障碍ヲ去ツテ……苦痛ヲ去ツテ、権  
太ニ於テ麥竝ニ馬鈴薯ヨリ出來マスル所ノ酒類ヲ内地ニ移入スル道ヲ付ケテ  
ヤリタイト云フコトナノデゴザイマス、デ委員會ニ於キマシテハ権太ノ酒類  
ノコト、ソレカラ臺灣ニ於テ出來マスル酒類、酒精等ノコト、ソレカラ内  
地デ出來マスル酒類、酒精等ノ關係カラシテ、内地デ出來マスル酒類ノ爲ニ  
聊カ懸念ヲ懷カレル御方ガゴザイマシタケレドモ、結局、農產物ノ處分ヲ圓  
滑ニスルコトガ出來、隨ツテ移民ノ永住スルコトノ獎勵ニモナリ、且ツ権太  
其モノ、將來ノ發展ニ大ナル影響ヲ及ボス案ナノデアリマスルガ故ニ、斯ノ  
マスル明治三十四年法律第十號中改正法律案ニ付イテノ御報告ヲ束ネテ致シ  
可決イタシマシタ次第ゴザリマスル、是ヨリ第二、即チ此日程ノ第四、工  
業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料稅法中改正法律案、第五ニ掲ゲテゴザイ  
マス、デ製造ノ際ニ課稅セラレテ居リマスル所ノ酒類酒精等ヲ或ル種類ノ工  
業ニ使用イタシマスル場合、是ハ日程ノ第四ニアリマス、ソレカラ海外ニソ  
レ等ノ酒類ヲ輸出イタシマス場合、即チ是ハ第五ノ方ニゴザイマスノデアリ

マス、其場合ニソレ等ノ場合ニ戻税ヲスル、ソレ等ノ酒類ニ對シテ戻税ヲシテヤルト云フノガ法律ノ趣旨ナノデゴザイマス、ソレデ今般樺太ノ酒類……樺太デ出來マスル所ノ酒類ヲ移入スルコトニナリマスル以上ハ、樺太ノ酒類ニ對シテモ或ル工業ニ使用セラル、場合、竝ニ海外ニ輸出セラル、場合ニハ是等ノ法律ノ規定ガアリマスカラ、即チ戻税ノ恩恵ニ均霑セシムルト云フノガ此兩改正法律案ノ趣旨ナンデゴザイマス、委員會ニ於テハ誠ニ至當ノコト、判断イタシマシテ、ソレモ全會一致ヲ以テ可決シタ次第デゴザイマスル、可決ノ次第ハ右様御報告申上グタ通リデゴザイマス、デ、此三案トモ先づ簡明ノ案ト申シテ宜イノデゴザイマスル故ニ、此際、本議場ニ於キマシテ

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第六、臘虎臘肭獸獵獲禁止ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第七、臘虎臘肭獸獵業者等ニ對スル交付金下付ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

臘虎臘肭獸獵獲禁止ニ關スル法第  
右可決スヘキモノナリト議決セリ

明治四十五年三月二十二日

右特別委員長

貴族院議長公爵德川家達殿

臘虎臘肭獸獵業者等ニ對スル交付金下付ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月二十二日

右特別委員長  
村田保

貴族院議長公爵德川家達殿

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 私ハ此會期切迫ノ際デゴザイマスカラシテ、極メラ簡単ニ申上

ケヤウト思ヒマナ 是ハ兩案レモ東モ申上ケマガ此委員會ハ一時日本  
昨日……午前カラ開キマシテ外務大臣、農商務大臣モ出席ニナリマシテ、ツル

外務大臣ヨリ致シマシテ此條約ヲ結ビマスル時分ニ段々祕密ノコトモアル

カラシテ参考マヂニ述ペテ置クト云フコトデ、ソレニ付イテハ委員ノ外ノ者

ノ退席ヲ望ム……ソレヨリ祕密會ヲ開キマスルニ付キマシテハ速記者モ繼テ是時ニニシテ、トモ大言ノラ音符、當時ノ能ノ氏ノアノタ、又農商務大臣ヨ

退席サセマシテ外務大臣カラ當時ノ事情元前ク承リテシタ交農商務大臣リ致シマシテモ既略此事ニ付キマシテ、説明ガゴザリマシタ、委員諸君カラ

モ段々質問ガゴザリマシタ、政府委員カラ委シク辯明ガアリマシテ能ク了解

ヲ致シマシタ、唯此中デ少シク質問モ多く出マシテ、先づ主要ナル質問ト認

ハ、ドウモ是ハ不公平デハナイカト云フ質問モ出マシタ、ト申シマスルモノ

八、此船主ノ方ニ重キヲ置イテ乗組員ノ方ハドウモ割合ガ少イデハナイカ、

殊ニ此船長ナドト云フモノハドウモ割合ガ少イ、是デハ不公平ダト云フノ

デ、ドウカ是ニハ好イ工夫ハナカラウカト云フコトヲ政府委員ニ尋ネマシタ、  
政府委員ニ於キマシテモ餘ホド此コトハ政府ニ於テモ研究ヲセラレタガ、今  
日ノ場合、之ヲドウモ改正等ラスルト云フ譯ニハイカナイ、殊ニ衆議院ノ  
委員會ニ於キマシテモ、ドウモサウ云フ論ガ出マシタ趣デゴザイマス、ソレ  
故ニ今日此委員會ニ於キマシテモ修正等デモシマシテ、ソレガ爲ニ又此衆議  
院ト意見デモ衝突イタシ、此會期切迫ノ際ニ是ガ議了サレヌヤウナ場合ニナ  
リマシタナラバ、謂ハユル虻蜂取ラズト云フコトニナリマシテ、實ニ容易ナ  
ラヌコトニナリマスルカラ、ソレ故ニ委員諸君カラモ一モ修正等ノ意見ハ出  
マセヌ、唯質問ダケニ止メマシテ、全會一致ヲ以テ決シマシタ譯デアリマス、  
ソレデ、此中ニ衆議院ノ修正ガゴザイマスガ、是ハ政府モ同意ヲサレマシテ、  
委員諸君ニ於カレマシテモ、是ハ誠ニ至當ナ修正デアルト云フコトデ、是モ  
全會一致デ賛成ヲ致シマシタ、ソレデ唯今申上ゲマシタ通り、先ヅ大要ハ斯  
ノ如キモノデアル、實ハ此臘虎、臘肭獸ノ事ニ付キマシテハ、餘ホド沿革ノア  
ルコトデゴザイマシテ、モウ少シ暇ガアルトキナラバ、本員ナドハ一時間カ  
一時間半ノ時間ヲ假シテ下サレマスレバ十分ニ實ハ御話シタイコトハ大分ア  
ルノデアリマスガ、併シ唯今述べマシタ通り、今日ハソンナ悠々シテ居ル場  
合デナイン、デアリマスカラ、ソレ故ニ諸君カラ御質問ガ出マシタナラバ、本  
員ノ御答ヘノ出來ル限りハ御答ヘ致シタイト思ヒマスガ、御質問ノ出マセヌ  
限りハ、ドウゾ先キホドモ述べマス通り、會期切迫ノコトデゴザイマスカラ、ドウゾ讀會ヲ省略サレマシテ直チニ御議決アラムコトヲ希望シマス、本  
員ハソレダケヲ……

○副議長(侯爵黒田長成君) チヨット村田君ニ御確カメ致シマスガ、二案ト  
モ讀會ヲ省略スルト云フ……

○村田君 サウデゴザイマス、初メニ私ハ申上ゲマシタ、二案トモ束ネテ

ト……

○磯邊包義君 読會省略贊成

○湯地定基君 読會省略贊成

○子爵有馬賴之君 贊成

○男爵山内萬壽治君 贊成

○男爵生駒親忠君 贊成

○男爵原口兼濟君 贊成

○男爵辻新次君 贊成

○子爵堤功長君 贊成

○田中芳男君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

○副議長(侯爵黒田長成君) 讀會省略ニハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、二  
案トモ讀會ヲ省略スルト云フコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略セラレマ  
シタ

○副議長(侯爵黒田長成君) 二案トモ委員長ノ報告ニ御異議ハゴザイマセヌ  
カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異存ガナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第八、朝鮮醫院及濟生院特別會計法案、  
政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告  
朝鮮醫院及濟生院特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十五年三月二十二日

右特別委員長

男爵 高木 兼寛

〔男爵高木兼寛君演壇ニ登ル〕  
貴族院議長公爵德川家達殿

○男爵高木兼寛君 私ハ朝鮮醫院及濟生院特別會計法案ノ委員會ノ經過並ニ  
其成績ヲ報道イタシマス、本委員會ハ昨二十二日午前ニ開會イタシマシテ、  
ヨリ詳細ナル説明ヲ與ヘラレ、續イテ幾多ノ質問等ゴザイマシタ、此中デ申

上ゲルコトハ、從來朝鮮ニ於キマシテ、此法案ニ關スル事項ノ大部分ハ朝鮮  
總督府ノ一般會計法ニ據テ經理サレタモノデアリマス、然ルニ茲ニ掲ゲテ  
アリマスル朝鮮總督府ノ醫院、即チ今日ノ大韓醫院デアリマス、ソレト道慈

惠醫院等ニ於キマシテハ之ニ屬スル所ノ資產モアリ、收入モアリ、寄附金等モアル所カラ致シマシテ、之ヲ別ニ致シ、獨立セシムルノ方法ヲ採ルガ然ルベキデアラウト申ス所カラ、遂ニ此法案ヲ提出サレルコトニナツタノデアリマス、茲ニ掲ゲテアリマスル卽チ總督府ノ醫院ハ京城ニ一箇所、ソレカラ慈惠醫院ハ十三アリマスノデアリマス、次ニ有リマスル所ノ濟生院ハ新タニ起ル所ノモノデアリマス、今日ノ所デハ私設ノ濟生院ガアリマシテ、是ガ財團法人トナツテ居ルノデアリマス、而シテ此私立ノ濟生院ハ今日ノ所、三百四十八万圓ホドノ財產ヲ所有シテ居ルノデアリマス、其出來タ所以ハ併合ノ際ニ特別ノ思召ニ依ツテ三十餘万圓ヲ御下賜ニナツタノガ大部分デアリマス、此外ニ同地ニ國債報償會ト云フモノガ有ツタサウデアリマス、是ガ清算ノ結果、又十餘万圓ノ金ヲ生ミ出スコトニナリマシテ、遂ニ之ヲ又濟生院ニ屬セシムルト云フコトニナリマシタノト、他ノ寄附金等ヲ合セテ三百四十八万圓ノ金ヲ財團法人ノル私設ノ濟生院ガ有ツテ居ルノデアリマス、茲ニ官設ノ濟生院ヲ起シマシテ、事業ハ此官設ノ濟生院ガ自ラ之ニ當ツテ實行スルト云フコトニナルノデアリマス、而シテ成立ツタル以上ハ、濟生院ニ於キマシテハ養育部、盲啞部、瘋癲部等ヲ置キマシテ、ソレハ實際ニ事ヲ行フト云フ計畫ニ是デ永遠事足リルト云フ譯ノモノデハ決シテナイノデアリマス、斯ノ如キ先ヅ道行キヲ以チマシテ、別ニ之ヲ獨立セシメ、以テ遂ニハ全ク官ノ保護ヲ仰ガズシテ出來ルクラキニ立至ラシメタイト云フ希望ヲ含ンデ居ルノデアリマス、續イテ之ガ箇條ニ付キマシテ調査ヲ致シマシタガ、別ニ修正等ノ必要ヲ認メズ、始メヨリ終リマデ一言一句ノ修正加除等ヲ要セズ、原案ノ儘デ全會一致可決イタシタ次第デアリマス、之ニ付キマシテハ一應此慈惠ノ事業ニ付キマシテハ意見ヲ述ベテ政府當事者ノ注意ヲ促シテ置キタイノデアリマス、成ルホド朝鮮ニ斯ノ如キモノヲ設ケルト云フコトハ今日ニ於キマシテハカラシテ、人民ノ傷痍疾病ヲ治療スルニ當リ不足ノアルコトハ明カナ事柄デアリマス、爲ニ此醫院ト云フモノヲ設クルコトニナリマシテ、即チ京城ニハ何等ノ疾病タリトモ此所ニ參レバ治療ノ出來ナイ者ハ無イヤウニ設備ヲサレ

テアルノデアリマス、是ハ至極當然ナル事柄デアリマス、而シテ此所デ治療ヲ受クル者ハ如何ナル人ガ受クルノデアルカト申セバ、即チ無資力ノ人デ、治療等ノ費用ヲ辨ズルコトガ出來ザル者ニアツテモ受クルコトガ出來ルコトニナツテ居リマス、同時ニ看護婦ノ養成モ致シ、又朝鮮學生ヲ收容イタシマシテ醫學ヲ教授シツ、アルヤウニ醫院ガ出來テ居ルノデアリマス、他ノ慈惠醫院ニ於キマシテハ先ヅ貧民ヲ救濟スルト云フ目的ニナツテ居ルマスケレドモ、矢張リ貧富ヲ問ハズ治療ヲ受クルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、其結果ハドウ云フコトヲ生ジテ參ルカト申セバ、終ニ朝鮮國內ニ於テ獨立シテ醫師ガ醫業ヲ經營スル……營ムト云フコトガ困難ニナル基トナル虞ガアルノデアリマス、我ガ内地ニ於キマシテモ明治ノ初ニ當リマシテ醫學ノ普及ヲ圖ラム爲ニハ各府縣トモ縣立ノ病院ヲ設置イタシタノデアリマス、然ルニ其縣立病院ナルモノ、今日ニ至リマシテハ其名ヲ存スレドモ多クハ其名モ無イヤウデアリマス、不用ニ屬スルモノトナツテ居リマス、事實上數十年ヲ經過スル間ニハ必要ハナイノデアリマス、併ナガラ同時ニ之ガアルガ爲ニ一般ノ醫業者ヲ益スル所ガ無クシテ寧ロ害スル所ガアリマシテ朝鮮全國ニ相當ナル醫者ヲ一般ニ供給スルコトガ頗ル困難ニナル虞ガアルノデアリマス、現在今日デモ多少アル様子ニ聞カレテ居リマス、即チ今朝ノ醫事週報等ニ於キマシテモ其事ヲ訴ヘテ居リマス、即チ慈惠醫院ナルモノガ出來タ爲ニ今日マデ醫業ヲ私ニ營ムコトガ出來テ居タ者ガ慈惠醫院設置ノ爲ニ立行クコトガ出來ズシテ其場ヲ立去ラナケレバナラヌト云フコトガ起ルノデアル、況ヤ將來ニ於キマシテ官業的病院ト云フヤウナモノガ出來テ參リマシタナラバ到ル所ノ人民ガ此方ニ參ルト云フコトニナリマシテ私ニ醫業ヲ營ンデ居ル所ニハ來ル者ガ無イト云フ姿ニナツテ、斯ノ如クナツタ時ニ十三ヤ十五ノ慈惠醫院ノミニテ朝鮮全國ノ人民ヲ治療スルト云フコトハ到底不可能デアリマス、之ヲ思ヒマスルト此醫院ノ設置ハ誠ニ結構ナヤウデアリマスケレドモ、幾年カノ後ニハ其性質ヲ改メテ全ク最初ノ趣旨ニ立戻ツテ貧民ヲ救濟スルコトニ使用スルト云フ精神ヲ以テ當事者ガ之ヲ取扱ハレムコトヲ希望スル次第デアリマス、長イコトハ此際申上ゲルノ要ハゴザイマセヌ、又内地ニ於キマシテ各府縣ニ縣立病院ヲ立テ、初メハ醫學ノ普及上大ニ助ケテ致シマシタケレドモ、後ニ至リマシテハ又害ヲ爲シタト云フ場合モ澤山アルノデアリ

マスカラシテ、同ジャウナ轍ヲ新領土ナル朝鮮ニ於キマシテ踏ムヤウナコトノ無イヤウニ當事者ハ注意ヲ拂ハレムコトヲ切望イタシテ置キマス、サテ此法案ニ付キマシテハ前ニ申上ダマシタ通リ實際上無ケレバナラヌモノデアリス、簡條ニ於キマシテハ一條ヨリ十條、ソレニ附則ガ附イテ居リマスルガ、是ハ各位モ御覽ニナリマシテ斯ノ如キ法ヲ設ケル以上ハ斯クナケレバナラヌト云フコトハ能ク御了解ニナッテ居ル事柄ト思ヒマスルカラ、別段ムツカシイ意味ガ無イノデアリマスカラシテ、茲ニ於テ讀會省略ヲサレテ速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス。

○子爵曾我祐準君 委員長ニ御尋ネ致シマスガ、初メニ御述ベニタコトハ委員會ノ御希望デゴザイマスカ、委員長御一個ノ御希望デアリマスカ、此コトヲ聽落シマシタカラ……

○男爵高木兼寛君 委員長ノ意見トシテ述ベマシタガ、併シ委員會デハ何分、時ガ無クシテ之ヲ述ブル機會ガ無カタノデアリマス、一個ノ意見トシテ御聽キヲ……

○子爵曾我祐準君 然ラバ委員長ノ御報告トシテ承ラヌデ宜シウゴザイマスカ

○男爵高木兼寛君 ハイ、アトノハ希望ダケデゴザイマス、申上ダテ置キマス

○子爵榎本武憲君 讀會省略ニ賛成

○出邊輝實君 讀會省略ニ賛成

○小野田元熙君 賛成

○男爵田健治郎君 讀會省略ニ賛成

○男爵原口兼濟君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○男爵新田忠純君 賛成

○男爵北島齊孝君 賛成

○男爵生駒親忠君 賛成

○「其他」賛成ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 讀會省略ニハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略セラレマシタ

○副議長(侯爵黒田長成君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第九、樺太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告  
樺太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月二十二日

右特別委員長

伯爵 柳原 義光

### 貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 御報告ヲ申上ダマス、樺太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案、此委員會ハ昨日開キマシテ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒ引續キ會議ニ移ツタノデゴザイマス、政府委員モ出席セラレマシテ種々質問ノ結果、全會一致ヲ以テ此案ヲ可決イタシタノデアリマス、極メテ簡單ニ此案ノ要領ヲ申上ゲマスガ、此案ハ樺太ニ於ケル石炭ノ礦區、其礦區ガ北部中部及南部ノ三部ニ分レテ居ルサウデアリマスガ、此樺太ニ於ケル礦區ハ元來政府ガ發見ヲシテ調査ヲシ發見ヲシタノデアリマスカラシテ、此炭礦ヲ採掘スル規定ハ内地ノ方法トハ自ラ其法ヲ異ニシテ居リマシテ、即チ通俗ノ言葉ヲ以テ申セバ此山ヲ政府ガ賣ツテ而シテ之ヲ採掘セムト欲スル者ハ其山ヲ買受ケテ其上デナケレバ採掘スルコトガ出來ナイノガ唯今ノ規定デアルノデアリマス、併ナガラ其方法ニ依リマスルト徒ラニ資本家ガ莫大ナル金ヲ寢カシテ置クト云フ所ノ弊害ガアルノデアリマスルカラシテ、今回ハ此唯今マデノ不都合ナ規定ヲ改正ヲ致サレマシテ、競争入札ノ方法ニ依ツテ一定ノ採掘料ヲ徵收イタシマシテ、サウシテ採掘スルコトヲ許スヤウニ致スト云フノガ、此案ヲ政府ガ

提出セラレタル所ノ趣旨デアルノデアリマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

事實ハサウデアッテ、而シテ之ヲ形式的ノ方面カラ見レバ、是マデハ権太ニ  
於ケル所ノ鑛業法ノ施行ト云フモノハ専ラ勅令ニ委ネテアッタノデアリマ  
ス、然ル所、今回ハ之ヲ法律ニ改メテ、法律ノ形式ニ依ッテ政府ガ同意ヲ求  
メラレタノデアリマシテ、衆議院ニ於テハ之ニ可決ヲ表シタノデアリマス、  
而シテ又昨日開キマシタ所ノ委員會ニ於キマシテモ、之ニ至會一致ヲ以テ可  
決ヲ表シタ次第デゴザイマスル、デ本案ハ新領土ノ鑛業發展上ニハ最モ必要  
ニシテ且ツ至極適切ナル改正案ト存ジマスルカラシテ、ドウカ滿場ノ諸君ニ  
於テモ御贊同アラムコトヲ希望イタシマス、尙ホ此案ハ唯今申上ゲマスル如  
ク、極メテ簡単、且ツ明白ナル案デゴザイマスニ依ッテ、讀會ヲ省略セラレ  
マシテ可決ヲセラレムコトヲ切望イタス次第デゴザイマス

○伯爵寺島誠一郎君 讀會省略贊成

○伯爵奥平昌恭君 贊成

○伯爵松平直之君 贊成

○男爵關義臣君 贊成

○伯爵大原重朝君 讀會省略贊成

○子爵伊集院兼知君 贊成

○子爵堤功長君 贊成

○子爵鳥居忠文君 贊成

○男爵原口兼濟君 贊成

○男爵中川興長君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 柳原伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ  
請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案、特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセ  
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者ナリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、暫時休憩イタシマス

午前十一時三分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、議事日程第十、朝  
鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者  
ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ  
續、委員長報告

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、議事日程第十、朝  
鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者  
ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ  
續、委員長報告

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、議事日程第十、朝  
鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者  
ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ  
續、委員長報告

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月二十二日

右特別委員長

侯爵 花山院 親家

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵花山院親家君演壇ニ登ル〕

○侯爵花山院親家君 唯今議題ト相成リマシタ朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ  
國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者ノ退隱料及遺族扶助料ニ關  
スル法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマスル、此委員會ハ  
昨二十二日開會イタシマシテ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒ、引續キテ會議ニ移リ  
マシタノデゴザイマス、政府委員ヨリ詳細ナル説明モゴザイマシテ、二三ノ  
質問モアッタノデゴザイマス、今本案ノ趣旨ノ大要ヲ申上ゲヤウト思ヒマ  
ス、舊韓國時代ニ於キマシテ居留民團又ハ學校組合等ノ下ニ設立イタシマシ  
タル學校ハ、在外指定學校トシテ、是等ノ學校職員ハ退隱料竝ニ遺族扶助料  
ヲ受クルコトニナッテ居ッタノデアリマスル、而シテ韓國併合後ノ今日、是  
等ノ學校ヲ在外指定學校トシテ取扱フノハ穩當デナイト云フ所カラシテ、其  
制度ノ變更ヲ要シマスル次第デゴザイマス、今一ツハ舊韓國時代ニ於キマシ  
テ、道デアルトカ、郡デアルトカ、面デアルトカ、其他舊韓國ノ公共團體ノ下  
ニ經營セラレテ居リマシタ所ノ公立學校ノ學校職員ハ、韓國時代ニハ恩給制  
度ノ設ガゴザイマセヌデ、併合ニナリマシタ今日、我ガ帝國ノ公立學校ト同  
様ニ退隱料及遺族扶助料ヲ與ヘテ、是等ヲ保護シ、且ツハ此恩典ニ浴セシムル  
ト云フノガ第二ノ趣旨デアリマスル、即チ以上述ベマシタル趣旨ニ基キマシ

テ、朝鮮ニ於ケル學事ノ普及ヲ圖ラムトスルノガ目的デゴザイマスル、是等ノ法案ノ適用ヲ受ケマスル者ハ併合ニナリマシタ後、公立トナツタモノバカリデゴザイマシテ、内地人ニ對シテ教育ヲ目的トスル所ノ小學校デアルトカ、普通學校、普通高等女學校、實業學校等ノ學校職員デアリマスル、四十五年

度ニ於キマシテ是等ニ與ヘマスル金額ハ七千三百圓バカリダサウデゴザイマ

ス、要スルニ本案ハ朝鮮ノ文官判任以上學校職員ニ對シマシテ退隱料竝ニ遺

族扶助料ヲ支給スルト云フ規定ニ基キマシテ提出サレタノデゴザイマス、以

上述ベマシタル趣旨ニ依リマシテ委員會デハ適當ナル案ト認メマシテ全會一

致ヲ以テ可決シタ次第デゴザイマス、此段御報告申上ゲマス、尙ホ至ツテ簡

單明瞭ナル案デゴザイマスカラ、ドウゾ讀會ヲ省略セラレマシテ直チニ可決

セラレムコトヲ希望イタシマス

○谷森真男君 讀會省略ニ賛成

○小野田元熙君 賛成

○男爵野田裕通君 賛成

○伊澤修二君 讀會省略賛成

○田邊輝實君 賛成

○男爵關義臣君 賛成

○子爵大田原一清君 賛成

○男爵原口兼濟君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 花山院侯爵ノ讀會ノ順序ヲ省略スルト云フ動議ニ  
賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノニ以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ特別委員長ノ報告通リ、御異存ゴザイマセ  
ヌカ  
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 此際諸君ニ御諮リ致シマス、議事日程ノ第十五ノ  
議案ヲ第十四ノ前ニ議題ト致シテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

農工銀行法中改正法律案(政第二十二號)  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十五年三月二十二日  
右特別委員長  
伯爵 吉井 幸藏  
貴族院議長公爵德川家達殿

農工銀行法中改正法律案(政第二十二號)

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十五年三月二十二日

右特別委員長

伯爵 吉井 幸藏

貴族院議長公爵德川家達殿

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十五年三月二十二日

右特別委員長

伯爵 吉井 幸藏

貴族院議長公爵德川家達殿

農工銀行法中改正法律案(衆第十號)

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月二十二日

右特別委員長  
伯爵 吉井 幸藏

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君 北海道拓殖銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、此三案ハ共ニ政府ノ提出デアリマス、改正ノ趣旨ガ同一デアリマスルカラシテ、便宜上束ネテ御報告申上グマス、此三法ノ改正案ハ二十圓以下ノ債券發行ノ場合ニ於キマシテ賣出ノ方法ニ依ルコトヲ得セシメルト云フ案デアリマス、勸業銀行ナドニ於キマシテハ從來賣出ノ方法ニ依ツテ居タルノデアリマス、然ルニ昨年新商法ガ施行サレマシテ、其規定ニ據リマスルト、總テ債券ハ募集ノ方法ニ依ツテ、即チ申込ヲ致シマシテ、申込書ヲ作リマシテ、サウシテヤルノデアリマス、然ルニ此小債券募集ノ場合ニ於キマシテ斯様ナ手續ヲ致シマスノハ誠ニ煩雜デゴザイマスカラ、茲ニ別ニ方法ヲ設ケマシテ、即チ賣出ノ方法ニ依ツテ債券ヲ發行スルヲ得ルト云フコトニシタイト云フ案デアリマス、是ハ農工業ノ爲ニ要スル資金ヲ集ムルニ誠ニ必要ナ手續デアリマス、三案トモ同ジヤウデアリマスガ、唯此北海道拓殖銀行法ニ付キマシテノ改正中ニ拓殖銀行ハ券面金額二十圓以下トスルト云フコトガアリマス、是ハ勸業銀行及農工銀行ニ於キマシテハ既ニ改正ニナツテ居ルノデアリマシテ、同時ニ改正ニ相成ルベキ筈ノガ残ツテ居タルノヲ此度改正サレル譯ニナリマス、委員會ニ於キマシテハ本案ハ最モ興業資金ヲ集メル上ニ於テ便宜ナル案デアルトシテ、委員會ハ一致ヲ以テ可決スベキモノト決議イタシマシテゴザイマス、色ム修正ガゴザイマスルガ、是ハ今ノ改正ニ基キマシテノ修正デゴザイマスカラ別ニ申上グマセヌ、モウ一ツ農工銀行法中改正法律案、是ハ衆議院ノ提出デゴザイマス、農工銀行法中ノ第一條ニ銀行ノ株式金額ハ二十圓トスルトアリマスノヲ、之ヲ五十圓マデ上スコトヲ得ルト云フコトニナルノデアリマス、其理由ハ農工銀行法發布以來既ニ十七八年ニモナリ、其間ニ經濟界ハ非常ナ膨脹ヲ致シタ、今日ハ全國過半ノ農工銀行ハ増資シツ、アル場合、斯ノ如キ場合ニ相成リマシタ上ハ

銀行ノ株主モ斯ノ如ク小債券デハ甚ダ面倒ヲ感ズル場合ガアリマスノデ、場合ニシタイト云フ案デアリマス、政府モ此案ニハ最モ便宜ナル案デアルトシテノトシテ決議イタシマシテゴザイマスルカラ、ドウゾ四案トモ本議場ニ於キマシテモ御可決ナラムコトヲ希望イタシマス  
○伯爵寺島誠一郎君 唯今、吉井伯ヨリ御報告ニナリマシタ四案トモ、至ツテ簡單明瞭ニ存ジマスルカラ、讀會ヲ省略セラレテ、直チニ確定議トセラレムコトヲ提議イタシマス  
○男爵武井守正君 寺島伯ノ動議モ出マシタガ、一言茲デ申サザルヲ得マセヌ、四案ヲ連ネテ決ヲ御採リニナルト云フ思召ト察シマスガ、最初ノ三案ハ束ネテ決ヲ採ラレマシテモ少シモ異議ハゴザイマセヌガ、第十五ノ農工銀行法ニ付キマシテハ本員ハ反對ノ意見ヲ有ツテ居リマスルカラ、決ヲ御採リニナリマス際ハ、各別ニ御採リ下サルコトヲ願ヒタイ、而シテ其反對ヲ致シマスルノハ……

○議長(公爵德川家達君) 武井男爵ニ申シマスガ、寺島伯爵ノ讀會ノ順序ヲ省略スルト云フ動議ハ、マダ贊成者ガ無イノデアリマスカラ、其動議ハ成立ツテ居リマセヌ

○男爵武井守正君 不贊成ノ理由ヲ申シマシテ、各別ニ決ヲ御採リ下サルコトヲ希望イタシマス、此農工銀行法ト申スルノハ特別ナ條例ノ下ニ起リマシタモノデ、五倍ノ債券ヲ發行スルコトマデ許サレテ居リマスカラ、之ヲ今五十圓ニ株ヲ上セルト云フコトハ當初ノ精神ニ悖ルト存ジマスルカラ、是ハ本員ハ反對ヲ致シマス

〔江木千之君「武井男爵ニ贊成、三案ハ……ト述フ」〕

○議長(公爵德川家達君) 江木君ハ何デアリマスカ

○江木千之君 三案ハ讀會省略ニ贊成ヲ致シマス、後ノ一案ハ別ニ決ヲ採ラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 寺島伯爵ニ伺ヒマスガ、伯爵ノ御希望ハ唯今特別委員長ノ報告セラレマシタ四案、皆讀會省略ト云フノデアリマスカ

○伯爵寺島誠一郎君 其通リデゴザイマシタ、併ナガラ第四案ニ付イテハ、御異論ヲ唯今一二ノ御方カラ伺ツタヤウデアリマスカラ、第四ヲ撤回イタシ

マシテ、第三ニ付イテノミ讀會省略ト云フコトニサレマシテ、異存ハ無イノ  
デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 第三デハアリマスマイ、三案デセウ

○伯爵寺島誠一郎君 三案デアリマス

○男爵田健治郎君 三案、讀會省略ニ賛成イタシマス

○伯爵柳原義光君 三案讀會說……讀會省略ニ賛成イタシマス

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○子爵井伊直安君 賛成

○子爵牧野忠篤君 賛成

○石井省一郎君 賛成

○小野田元熙君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 寺島伯爵ノ議事日程第十一、第十二、第十三、此

三案ノ讀會ノ順序ヲ省略スルト云フ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 三案トモ特別委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセ  
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵吉井幸藏君 日程第十五ノ農工銀行法案モ、是ハ誠ニ簡單ナ案デゴザ

イマスルカラ、是モドウズ讀會省略デ可決ニナラムコトヲ望ミマス

○伯爵寺島誠一郎君 吉井伯爵ノ動議ニ賛成イタシマス

○子爵新莊直陳君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○石井省一郎君 唯今、武井男爵カラ述ベマシタ否決ノコトニ私ハ賛成ヲ致  
シマス

○議長(公爵徳川家達君) 讀會ノ順序ヲ省略スルト云フ動議ニハ定規ノ賛成  
者ガ無イト認メマス、……本案ノ第二讀會ヲ開クペシトスル諸君ノ起立ヲ請  
ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十四、辯護士法改正法律案、衆議院提出  
出、第一讀會

○東久世書記官朗讀

○辯護士法改正法律案

○右本院提出案及送付候也

○明治四十五年三月二十二日

○衆議院議長 大岡 育造

○貴族院議長公爵徳川家達殿

○辯護士法

○第一章 辯護士ノ資格及職務

○第一條 辯護士ハ當事者ノ委任ヲ受ケ又ハ裁判所ノ命令ニ基キ法律ニ關ス  
ル職務ヲ行フモノトス

○第二條 辯護士タラムト欲スル者ハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

○第一 帝國臣民ニシテ民法上ノ能力ヲ有スル男子タルコト

○第二 辯護士試験規則ニ依リ試験ニ及第シタルコト

○第三條 辯護士試験ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム但シ試験委員ハ司法  
省高等官判事檢事辯護士中ヨリ之ヲ銓衡ス

○第四條 判事檢事又ハ辯護士タリシ者ハ試験ヲ要セスシテ辯護士タルコト  
ヲ得

○第五條 左ニ掲タル者ハ辯護士タバコトヲ得ス

○第一 無期又ハ六年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者

○第二 刑法第二編第一章乃至第三章、第五章、第七章乃至第十一章、第  
十六章乃至第二十三章、二十五章、第二十六章、第三十五章乃至第  
四十章ノ規定ニ依リ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者

○第三 破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セナル者

第四 懲戒ノ處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタル者又ハ本法ニ依リ除名

セラレタル者

## 第二章 辯護士ノ権利及義務

第六條 辯護士ハ法廷ニ於テ職務上陳述シタル言語ニ付其ノ責ヲ負フコトナシ

ナシ但シ法廷ノ秩序維持ニ關スル裁判所構成法民事訴訟法及刑事訴訟法ノ規定並本法ニ依ル懲戒規定ノ適用ヲ妨ケス

第七條 辯護士ハ正當ノ理由アルニ非サレハ司法大臣又ハ裁判所ノ命シタル職務ヲ行フヲ辭スルコトヲ得ス

第八條 辯護士ハ左ニ掲タル事件ニ付其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第一 職務上相手方ノ協議ヲ受ケテ之ヲ贊助シ又ハ委任ヲ受ケタル事件

第二 官吏公吏在職中取扱ヒタル事件

第三 仲裁手續ニ依リ仲裁人ト爲リテ取扱ヒタル事件

## 第三章 辯護士會

第九條 各地方裁判所管轄區域毎ニ辯護士會ヲ置ク

司法大臣ハ土地ノ狀況ニ依リ數箇ノ地方裁判所管轄區域ヲ合シテ辯護士會ヲ設ケシムルコトヲ得

第十條 辯護士會ノ目的左ノ如シ

一 司法上又ハ辯護士ノ利害ニ關スル事項ノ處理

二 法律命令又ハ辯護士會會則ニ規定シタル事項ノ處理

第十一條 辯護士會ハ之ヲ法人トシ司法大臣之ヲ監督ス

第十二條 辯護士會ニ會長及副會長ヲ置ク

會長又ハ副會長ハ其ノ會ヲ代表ス

第十三條 辯護士ハ辯護士會ニ加入シテ其ノ會員名簿ニ登録セラルコトヲ要ス

第十四條 辯護士會ハ左ニ掲タル事項ヲ定メ司法大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一 會長副會長懲戒委員下調委員其ノ他役員ノ選舉及其ノ職務

第二 入會退會及登錄ニ關スル規定

第三 總會又ハ役員會ノ議事ニ關スル規定

第四 辯護士ノ風紀及懲戒ニ關スル規定

第五 報酬ニ關スル規定

第六 財產ノ管理及出納其ノ他會務ノ處理ニ必要ナル規定

第十五條 所屬辯護士會以外ノ地ニ事務所ヲ設クル辯護士ハ其ノ地辯護士會ノ會則ヲ遵守スヘシ

## 第四章 懲戒及罰則

第十六條 辯護士ニシテ本法又ハ辯護士會會則ニ違反ノ處爲アルトキハ其ノ所屬辯護士會ノ懲戒裁判ニ附ス

第十七條 辨護士ニ對シ懲戒事犯アリト認ムル者ハ辯護士會ニ申告スルコトヲ得

第十八條 辨護士會長前條ノ申告ヲ受ケタルトキハ直ニ下調委員ニ附スヘシ

下調委員會ノ組織及手續ハ會則ノ規定ニ依ル

第十九條 下調委員會ノ決定ハ會長ニ報告スヘシ

下調委員會ニ於テ懲戒裁判ニ附スヘキモノト決定シタルトキハ會長ハ直ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 懲戒事件ニ付テハ各辯護士會ニ五名以上ノ懲戒委員ヲ設ケ之カ裁判ヲ爲ス

所屬辯護士會ニ於テ定數ノ懲戒委員ヲ選定スル能ハサル場合ニハ司法大臣ハ他ノ辯護士會員中ヨリ之ヲ補充ス

第二十一條 懲戒裁判ニ付テハ判事懲戒法及民事訴訟法第三十二條乃至第三十六條、第七百九十四條乃至第七百九十六條、第七百九十八條乃至第八百條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 懲戒罰ハ左ノ四種トス

第一 謹責

第二 千圓以下ノ過料

第三 五年以下ノ停職

第四 除名

前項第二號ノ過料ハ國庫ノ收入トス

第二十三條 所屬辯護士會ノ懲戒裁決ニ不服アル者ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ覆審ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ裁判ヲ爲シタル辯護士會ニ申立書ヲ提出スヘシ

司法大臣ハ前項ノ期間内ニ覆審ヲ求ムルコトヲ得

二十四條 覆審裁判ハ大審院判事及辯護士ヲ以テ組織シタル委員會ニ於

テ之ヲ爲ス

委員ノ數ハ大審院判事四名辯護士三名トシ司法大臣之ヲ任命ス但シ豫備委員ヲ置クコトヲ得

第二十五條 覆審ニ關スル裁判手續ハ司法大臣之ヲ定ム

第二十六條 辯護士ニ非シテ法律ニ關スル事務ヲ取扱フコトヲ業トスル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

### 第五章 附則

第二十七條 本法ハ明治四十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十八條 現在ノ辯護士會ハ本法ニ依ル辯護士會ト看做ス

第二十九條 本法施行ノ際現ニ辯護士會ニ加入セル辯護士ハ本法ニ依リ其ノ辯護士會ニ加入シ登録セラレタルモノト看做ス

第三十條 本法施行ノ際在任セル辯護士會役員ハ本法ニ依ル役員ノ選任ニ至ル迄本法ニ依ル役員ト看做ス

第三十一條 本法施行ノ際開始セラレタル懲戒手續ハ明治二十六年法律第七號ニ依ル

第三十二條 本法施行ニ必要ナル事項ハ司法大臣之ヲ定ム

第三十三條 明治二十六年法律第七號ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○穗積八束君 此案ニ付イテ唯今質問ヲ致シテ宜シウゴサイマスカ……司法省所管ノ政府委員ガ居ラレマスルカ

○議長(公爵德川家達君) 穗積君ハ政府委員ニ御質問ガ有ルノデアリマスカ

○穗積八束君 質問ヲシタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今、司法省所管ノ政府委員ガ居ラレマセヌカラ、唯今呼ビニヤッテ居リマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、議事日程第十四ノ法案ニ付イテ穗積君カラ政府委員ニ質問ノ希望ガアル様子デゴザイマスカラ……

○穗積八束君 若シ政府委員ガ御出デガ無イヤウナラバ、何レ委員ニデモ若シ付託ニナリマスレバ其時ニ伺ッテモ宜シイコトデゴザイマスカラ、唯今強ヒテ茲デ伺ハヌデモ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 此案ハ衆議院ノ送付案デゴザイマスカラ、委員ニ付託ヲ致サネバナラナイ案デゴザイマス、唯今議事日程ヲ變更イタサウカト思ヒマシタガ、サウ云フコトナラバ穗積君ニ於テ御異存ガ在ラセラレマセヌ

ケレバ委員ニ付託イタシマス

○穗積八束君 ソレデ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔東久世書記官朗讀〕

### 辯護士法改正法律案特別委員

伯爵奥平昌恭君 子爵森 清君 子爵池田 政時君

村田 保君 男爵島津隼彦君 高木 豊三君

馬屋原二郎君 依田仙右衛門君 鎌田勝太郎君

○議長(公爵德川家達君) 是デ本日ノ議事日程ハ終リマシタガ、御報告ヲ致スコトガゴザイマス

〔太田書記官長朗讀〕

本院ハ衆議院議員選舉法中改正法律案兩院協議會ノ成案ヲ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ依リ及送付候也

明治四十五年三月二十三日

衆議院議長 大岡 育造

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議員選舉法中改正法律案兩院協議會成案

○議長(公爵德川家達君) 唯今、諸君ノ御聽キニ相成リマシタ通牒文ヲ受領イタシマシタ故ニ、此際議事日程ヲ追加シテ衆議院ヨリ回付セラレマシタ成案ノ會議ヲ開クコトニ御異存ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

衆議院議員選舉法中改正法律案右別冊ノ通兩院協議會成案成立セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月二十二日

衆議院議員選舉法中改正法律案兩院協議會成案

貴族院議長公爵德川家達殿

男爵 久保田 讓

衆議院議員選舉法中改正法律案兩院協議會成案

○議長(公爵徳川家達君) 協議會議長久保田男爵ノ登壇ヲ促シマス

〔男爵久保田讓君演壇ニ登ル〕

○男爵久保田讓君 兩院協議會ノ經過ヲ御報道申上ゲマス、本協議會ノ議長副議長ノ選舉ニ關スルコトハ既ニ議場デ報告ニナリマシテ御承知ノ通リデゴザイマス、昨日二時ヨリ協議會ヲ開キマシテ、規則ニ依ツテ抽籤ノ結果、貴族院ノ側ニ於テ議長ノ職務ヲ執ルコトニナリマシタ、即チ私ガ其職務ヲ執リマシタ、先づ初メニ質問ヨリ始マリマシテ、衆議院ノ側ヨリシテ本案ニ付イテ貴族院ガ修正ヲ致サレマシタ所ノ理由ヲ承リタイト云フコトデアリマシタ、貴族院ノ側カラシテ其説明ヲ致シマシタ、ソレハ衆議院議員ノ選舉ノ本來ノ目的、即チ純正ニ國民ヲ代表スベキモノヲ選ブニ付イテ資格アル各選舉人ノ自由ノ意思ヲ以テ選舉ノコトノ實行ノ出來ルヤウニスルコト、ソレニ付イテ弊害ヲ……之ガ爲ニ弊害ノアルコトヲ防止スルト云フコトノ如キ大體ノコト……極メテ大體ノコトニ關シマシテ理論ト實際トノコトニ付イテ、貴族院ガ修正ヲ致シタ所ノ理由ヲ説明イタシマシテ、ソレヨリ衆議院ノ側カラシテ段々質問モアリマシタ、其質問ハ頗ル詳細ノコトヲ極メタノデアリマス、或ハ憲法政治ト政黨トノ關係、又選舉ニ關スル費用ノ關係、又罰則ニ關スル關係、其他ノコトモアリマシタガ、重モニ斯様ナ箇條ニ付イテ反覆質問ガアリマシタ、或ハ事實ノ上ヨリ、又ハ理論ノ上ヨリ、繰返シく質問ガアリマシタ、デ貴族院ノ側カラモ之ニ應ジテ數回反覆答辯ヲ致サレマシタ、其間二時間半モ費ヤシタヤウナ譯デ、四時三十分ニ至ツテ暫時休憩ヲ致シマシタ、五時ニ至ツテ再び會議ヲ開キマシタ、最早質問モ盡キマシテ此時ヨリ討論ヲ致シタノデアリマス、其討論モ色々に入ルコトデアリマシタガ、其大要ヲ申述ベマスルト、衆議院ハ理論ハ餘リ主張シナイ、實際衆議院ノ議員ノ選舉ノコトデアルカラシテ、實際ニ就イテ事實ノ上ニ利害得失ノアルコトヲ委シク述べ、サウシテ貴族院ノ同意ヲ得タイト云フヤウナコトガ大趣意デアリマシテ、重モニ事實ノコトヲ申述ベラレタノデアリマス、且ツ此問題ハ既ニ十年間、其間ニ總選舉ヲ四回行ハレテ、隨分衆議院ノ議員トシテハ相當ノ経験モ致シ又研究モ致シテ居ルコトデアル、ト云フヤウナコトノ如キ、又選舉費用ノコトニ付キマシテモ、最モ此事柄ガ衆議院議員ノ選舉ノ上ニ重大ノ關係ヲ有ツテ居リ、又事情ニ於テモ頗ル困難ノ問題デアルト云フコト、此點ガ殊ニ多ク議論ノ點ニナッタヤウデアリマス、ソレカラ補闕選舉ノコトハ大選

舉區ノ關係ニ於テハ甚ダ困難デアル、是モ屢々補闕選舉ニ遭遇シタ經驗ニ依テ、此一事ハ大選舉區ニ於テハ最モ困ル所ノ問題デアルト云フコトヲ切ニ論ゼラレマシタ、ソレカラ貴族院ハ憲法附帶ノ重要な法律デアルカラシテ之ヲ容易ク變更スルコトハ宜シクナイト云フ議論デアルガ、併シ憲法ハ動カスベカラザルモノデアルケレドモ、附屬ノ法ハ時ノ進運ニ應ジテ必要ノ時ニハ變更シテモ宜イデハナイカト云フコトモ論ゼラレマシタ、ソレカラ就中、力ヲ入レテ論ゼラレマシタノハ、總テ何事デモ理論ト實際ト雲フコトハ、ドウモ其能ク符合スルコトハ少イコトガ往々アル、殊ニ此衆議院ノ議員選舉法ノコトニ付イテハ理論ト實際ト甚ダ符合シナイコトガ多イ、此點ニ付イテハ特ニ貴族院ノ注意ヲ促シタイト云フコトデアルケレドモ、政治上ノ德義ヲ顧ミテ讓歩セラレタラ宜カラウト云フコトヲ希望スルト云フコトモ申述ベラレマシタ、色々端ニ瓦ツテ居リマスケレドモ、討論ヲ致シタ議論ノ要點ハ、衆議院カラ申サレタノハ唯今申シタヤウナ次第デアリマス、之ニ對シテ貴族院ノ側カラ返答ヲ致サレマシタ所ノ要點ハ、成ルホド十年間ニ四回ノ經驗モ積マレタデアラウ、ソレカラ又衆議院ノ議員ノ諸君ハ實際ノ經驗モ多イコトデアラウ、能シ其實地ノ事情ニ精通イタサレテ居ルデアラウ、併ナガラ貴族院ニ於テモ必シモ唯理論ノミヲ主トシテ考ヘタト云フ次第デハ決シテ無イ、貴族院デ本案ヲ受領シテ、以來委員會ニ於テモ數日間反覆研究ヲ致シタ譯デアル、其際ニハ内務大臣モ常ニ出席セラレテ實際上ノコトモ縷々申述ベラレタノデアル、又トハ十分ニ深ク注意ヲシナイト云フヤウナ次第ハ更ニ無イコトデアル、熟考ニ熟考ヲ費ヤシタ上、御同意スベキコトハ同意ヲ致シ、同意スベカラザルコトハ遂ニ遺憾ナガラ同意ハ出來ナイト云フコトデ、即チ議員ノ人員ノ増加ノ如キ又取締上ニ關スル制裁ノ如キハ政府ノ意見、並ニ衆議院ノ修正ニ大略同意ヲ致シタノデアッテ、唯此大選舉區ノコトノミニ御同意ガ出來ナイト云フ次第ニナッタノデアリ、ソレデ大選舉區、小選舉區ノコトニ付イテハ色々御議論モアルケレドモ、現行法即チ大選舉區ノ制ヲ施行シタ以來、十年ニナッテ衆議院デモ御經驗モアルカモ知ラヌガ、又貴族院ノ見ル所ニ於テモ此經驗

上ニ於テモ此法律ノ運用上稍、其結果ヲ見ルベキトキニ遭遇シテ居ルト考ヘ  
ルノデアル、ソレデ其利害得失ニ於テ今日未ダ俄ニ此大選舉區ヲ小選舉區ニ  
變更スルト云フ理由ハ何分ニモ見出ダスコトガ出來ナイノデアル、餘儀ナク  
此選舉區ノコトノミガ同意ヲスルコトガ出來ナイト云フコトニ歸著ヲ致シタ  
ノデアルカラシテ、今日モ昨日モ段々委シイコトハ一層委シク承ツタケレ  
ドモ、何分ニモ御同意ヲ致シ兼ル次第デアルト云フコトヲ、或ハ統計ニ據リ  
理論ニ據リ事實ニ據ツテ詳細ニ討論ヲ致シタノデアリマス、此間又殆ド二時  
間ヲ費ヤシタノデアリマス、ソレデ雙方討論モ殆ド盡キルトキニ臨ンデ、衆  
議院ノ側カラシテ最早討論モ大概盡キタト認メルガ、此際ニ更ニ懇談ヲ重ネ  
タイ次第モアルカラシテ、速記ヲ廢シテ懇談ヲ致シタイト云フ請求ガアリマ  
シタ、一同異議ナク之ニ同意イタシテ、是ヨリ速記ヲ廢シテ懇談ヲ致シマシ  
タ、其懇談ノ次第ハ別段變ツタコトモアリマセヌ、衆議院ノ側カラハ段々申  
述ベル通リノ次第デアツテ、衆議院ニ於テハ實ニ重大ノ關係ヲ有ツテ居ルコ  
トデアルカラシテモ、貴族院モ段々是マデ深ク考ヘラレタコトデアラウケレ  
ドモ、尙ホ一層考ヘテ貰ヒタイ、何カ案ヲ考ヘテ貰ヒタイト云フコトヲ懇ロ  
ニ申シ談ゼラレマシタ、其席ニハ衆議院ノ議長ノ大岡君モ參ラレテ、尙ホ言  
葉ヲ添ヘテ切ニ懇談ガアリマシタ、貴族院ノ側カラモ其懇談ノ事情ニ付イテ  
ハ誠ニ同情ニ堪ヘヌ次第デアル、併ナガラ先刻來モ申シタ通り此問題ハ決シ  
テ貴族院ニ於テハ輕々ニ考ヲ定メタ次第デナインデ、反覆熟考ヲ致シテ茲ニ  
至ツタ次第デ、衆議院ノ事情ト云フヤウナコトモ飽クマデ承知ヲシテ居ル積リ  
デアル、併ナガラ此大切ナル憲法ニ附帶シタ選舉ノ根本法ヲ論ズルニ當ツテ  
ハ、事情ガ……情實ニ於テ酌量スペキト云ツテ本來ノ大切ナル點ヲ曲グルト云  
フコトハ、公私ノ區別ニ於テ何分出來難イコトデアルカラ、宜シク此事情ハ  
御了承ニナルヤウニ致シタイト云フコトノ趣意ヲ以テ、貴族院ノ側カラモ胸  
襟ヲ披イテ相談ヲ申シタコトデアリマス、此間モ殆ド三十分ノ餘モ費ヤシマ  
シタ、遂ニ結局、此問題ハ唯一ツノ問題アツテ、衆議院ガ貴族院ノ議ニ同意  
來ナイ問題デアリマスカラ、懇談ニ懇談ヲ重ネマシタケレドモ、何等ノ結果  
ヲ得ルコトガ出來ズシテ遂ニ立分レナケレバナラヌヤウナ次第ニ推移ツタノ  
ノデアリマス、茲ニ於テ雙方トモ已ムヲ得スト云フコトニ論旨ハ歸著ヲ致シマ

○議長（公爵徳川家達君）　曾我子爵

シテ、ソレデ此協議會ノ規則ニ據ツテ採決ヲスルコトニナリマシタ、ソレデ此規則ニ據リマスレバ一ノ協議ノ成案ガ成立イタサヌトキハ衆議院ノ決議案ガ原案ニナルノデアリマス、衆議院ノ決議案ニ付イテ採決ヲ致シマシタ所ガ、九名ニ對スル十名ノ多數デ此衆議院ノ案ガ決議ニナリマシタ、可決ニナリマシタ、即チ貴族院ノ修正ヲ致シテ衆議院ニ回付ヲ致シタ所ノ案ハ消滅ヲ致シタ次第アリマス、遺憾ナガラ右様ナ次第デアリマシテ、本委員ガ衆議院ノ委員ヲ貴族院ノ修正案ニ同意セシムルコトガ出來ナカッタ云フコトハ甚ダ遺憾ノ次第デアリマスガ、前申シマシタ如ク隨分議論モ致シ、懇談モ致シ、盡スダケハ盡シタ積リデアリマスガ、遂ニ右様ナ結果ニナツタノハ甚ダ遺憾ナ次第ダト存ジマス、此段御報告ヲ申シマス

ガ此席ニ於テ詳ニ述ベラレタヤウナ次第デアリマスルニ依ツテ、茲ニ蛇足ハ附ケマセヌ、遂ニ此案ガ兩院協議會ニナリマシタ、其時分本員ハ竊ニ思ヒマシタ、多分相當ナル一ツノ成案ガ出來テ、即チ他ノ案ガ出來テ委員諸君ハソレヲ御持歸リニナルコトニアラウ、サスレバ年來ノ衆議院ノ希望デモアツタ所ノ此修正ガ満足ニ成立シマシテ、大ニ兩院ノ間ノ都合モ好シ、又ソレダケ國家ニモ益スルコトニアラウト豫期シテ居リマシタ、トコロガ豈ニ測ラムヤ選舉區ノ大小ノコトニ付イテハ十分ニ御盡力クダサレタ趣デアルガ、殘念ナガラソレガ成立タズニ、遂ニ何等ノ協議會ノ成案モ御持歸リガ無カッタト云フノハ、遺憾千萬ナ次第デアリマス、併シ唯今トナツテ此案ヲ決スルニ際シテ、我々本院ノ議員ハ何等新タニ以前否決シタ所ノ小選舉區ニ付イテ新タナル理ヲ見出サヌ、即チ道理ノ有ルト云フコトヲ新タニ茲ニ見出サヌ以上ハ、ドコマデモ前ノ議決ヲ維持スルヨリ外ナイコト、思ヒマス、遺憾千萬デハアリマスガ、已ムヲ得ズ私ハ此成案ニ反対ヲ致シマシテ、即チドコマデ衆議院案ニ反対ヲ致シマス、即チ此成案ニ反対ヲ致ス一人デアリマス、ドウカ諸君ノ御賛成ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モ無イト認メマスカラ採決ヲ致シマス、衆議院ヨリ送付セラレマシタ成案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、……會期モ將ニ盡キムトスル際ニ、一言諸君ニ申上ゲタイト存ジマス、諸君ノ席次ハ既ニ定マツテ居リマスカラ、ドウゾ諸君ハ諸君ノ御席ニ御著席ニ相成ルコトヲ切ニ希望イタシマス、……明後日ノ議事日程ハ決定次第、彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後二時六分散會